

2024年6月13日

福島市 環境部 環境課 御中

東京都中央区銀座一丁目6番11号
土志田ビルディング3階
AC7合同会社
代表社員 AC7一般社団法人
職務執行者 中村 武

福島市 先達山太陽光発電施設 特設ページについて

記

本発電施設に関して様々なご心配の声やお問い合わせがある中で、特設ページの開設ならびに連日の時間外業務対応など福島市職員の皆様がたには多大なるご苦勞とお手を煩わせていることは重々承知しており、お詫び申し上げます。

今後は弊社といたしましては本発電施設に関して、市民の皆様にご理解いただくため、最新の情報を提供させていただければと考えており、つきましては誠に恐縮ではありますが、本書面をご確認いただき、情報の更新についてのご検討を賜りたく、宜しく願い申し上げます。

- ① 「1 事業計画概要【現況写真（令和6年4月撮影）】」について、4月より2か月程度経過しており、現況は植生施工部分の緑化が進んでおります。「6 現在の先達山【令和6年6月11日撮影】」のように最新の写真を採用及び更新いただくことで、緑化の進行による景観の緩和情報を発信できようかと思料いたします。今後は当方より随時緑化進行の写真を提供いたしますので、お手間をかけますが都度写真の差し替えと更新をいただければ市民の皆様にもさらにご理解が深まるものと思います。
- ② 「3 災害発生時の状況と対応」について、災害発生時の状況のみ写真で掲載されておりますが、奥村組による土嚢設置などの応急措置を2024年6月2日14:30には完了しており、翌3日には道路も清掃完了している状況の写真をご提供させていただいておりますので、「仮復旧状態」の写真と時系列も掲載いただけますと幸甚に存じます。目的は災害発生に対して、事業者側でも復旧作業などを迅速に行っている点をホームページ閲覧される方にも知っていただきたい趣旨のお願いです。併い、同項目内の「(1) 県道（主要地方道 福

島東裏磐梯線)へ「土砂流出」という記載に関しましても、可能であれば「泥水」の記載に改めていただけますようご検討をお願いいたします。

(参考までに6月11日の福島テレビ報道でも「泥水」の言葉を採用されております。

<https://www.fukushima-tv.co.jp/localnews/2024/06/2024061100000010.html>)

- ③ 「4 環境影響評価制度（環境アセスメント）と対応」及び「5 よくある質問と回答」のQ4について、提出されたフォトモニタージュは完成後の予測であり、現状造成段階の景観と比較をされてしまうことに少し違和感を覚えますので、表現として「現在は造成中のため表土が見えており市内からの景観が芳しくないため、市としては環境影響評価制度にて提出されたフォトモニタージュの予測に近づけるよう早期の緑化施工を業者に促している。」などの記載に変更願えますでしょうか。
- ④ 「5 よくある質問と回答」のQ8について、「電力の使用先はわからない」と記載されておりますが、本発電設備は固定価格買取制度の中での運用と予定されておりますので、基本的には「地元地域である福島市ならびに東北地方で使用される再生可能エネルギー電源が発電される予定」と記載を変更願えますでしょうか。
- ⑤ 「1 事業計画概要 (7) 工事期間」について、(竣工)令和7年1月(予定)と記載ありますが、現段階では1か月遅れで「令和7年2月」を予定しております。

以上

本工事現場においては多くの福島市内の建設関連企業様ならびに従業員様の方々にもご協力及びご参加いただいております。目標としている2025年2月の竣工後も維持管理業務において福島市内に拠点を要するメンテナンス企業様に発注を予定しており既に新たな雇用実施したご連絡を受けております。

2024年6月現在は伐採が終わり、主に水害などを防止する観点から入念に造成工事を行い太陽光設備工事も開始いたしました。できる範囲から緑化工程を前倒し検討し、設備の整った箇所から種子散布や植生シート敷設(別紙1参照)を行っており、1日でも早く景観改善に向かい努力しております。

なお本事業の概要及び環境貢献度については、別紙2に記載いたします。こちらの「別紙1」及び「別紙2」について、特設ページへの掲載をご検討いただければと存じます。

(以下、余白。)

別紙2（事業概要及び環境貢献度と全体工程表）

福島先達山太陽光発電所は日本政府が掲げる第六次エネルギー基本計画において2050年カーボンニュートラルに向けた長期展望と、2030年に向けた再生可能エネルギーの普及に貢献する発電所です。

2022年春に着工した本件発電所の工事には多くの福島市民もご協力・ご参加いただいております。2025年竣工を目標として建設しております。

現在は伐採が終わり、主に水害等を防止する観点から入念に造成工事を行い設備工事も開始しております。可能な限り緑化工程を前倒しするなど、設備の整った箇所から種子散布・植樹・植生シート敷設を行います。なお2025年2月竣工時は冬季のため、緑化による景観改善は同年春から夏以降に徐々に始まり、種子や植樹の成長に伴い年月を経るごとにさらに改善される見込みであり、一日でも早く福島市内からの景観を改善する努力をいたします。

本事業の発電出力は約40MWac、年間予想発電量は約67,697,599kWhと一般家庭約16,214世帯分(※1)の年間電力消費量に相当します。CO2削減効果見込は、年間で約43,461トン(※2)となります。

※1：環境省「家庭部門のCO2排出実態統計調査」

※2：国立研究開発法人産業技術総合研究所 太陽光発電技術 R&D on Photovoltaic Technologies

先達山太陽光発電所工程

項目	2022年			2023年			2024年			2025年	
	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月	4月～6月	7月～9月	10月～12月
										特別高圧受電 ▽	▽ 運用
造成工事	[Blue bar spanning from 2022-04 to 2024-06]										
太陽光発電所工事							[Yellow bar]				
機器施工										[Red bar]	[Red bar]
試験調整										[Green bar]	[Green bar]